



2月18日開催 東地申第48号

2021年3月ダイヤ改正等に関する申し入れ 【尾久車両センター】団体交渉を行う！ その1

1. キヤE195系の仕業検査および交番検査の検査体制を明らかにすること。また、交番検査については安全の観点や超勤前提とならないように3日工程とすること。

【回答】: 検修の業務量を勘案し、効率的な業務執行体制としている。また、必要な要員と工程は確保していく考えである。

- ◆検査体制を具体的に明らかにすること！
- ◆キヤ E195系について、慣れない作業であり、より安全に作業することが重要だ。初期故障が多発し、それに対応しなければならず、他の作業に支障がでている！ 安全に作業を行うには余裕をもった体制でなければならない！ 実際に作業ミスも発生している！
- ◆東京レールセンターの設備や工具等を整えること！
- ◆東京レールセンターに常駐させる考えはないのか明らかにすること。

組合

- ◆LT の仕業検査は尾久車両センター、ST の仕業検査は田端運転所、ST・LT の交番検査は尾久車両センターで行う。東京レールセンターで行う仕業検査は2名である。交番検査については、ST は3名で5日工程、LT は5名で3日工程である。今後も検討していく。
- ◆初期故障が多いことは認識している。超勤も発生している。メーカー改修などで対応している。
- ◆詰所は2月中に見てもらって改修をしていく予定である。工具や材料などは検討中である。
- ◆現時点で東京レールセンターに常駐させる考えはない。

会社

2. 今ダイヤ改正で標準数が+1となる根拠を明らかにすること。また、今後多くの退職者が発生するため、仕業パートを計画的に養成すること。

【回答】: 検修業務量を勘案し、体制を見直すものである。なお、必要な要員は確保していく考えである。

- ◆標準数+1の根拠を具体的に示すこと。
- ◆新たな作業も発生している！また、新型車両の方が検査の作業量も多い。さらに標準数を増やすべきだ！
- ◆あと2年で国鉄採用者が退職する！仕業パートを計画的に養成すること！

組合

- ◆東京レールセンターでの 新たな業務もあるが、業務量を総合的に勘案している。
- ◆各作業について、何人必要か、最大の人数を見て算出している。
- ◆仕業パートについて、車両センターの中で計画的に養成していく。 **確認！**

会社



2月18日開催 東地申第48号

2021年3月ダイヤ改正等に関する申し入れ 【尾久車両センター】団体交渉を行う！ その2

3. 尾久車両センターと東京総合車両センター間で行われている人事交流についての考え方を明らかにすること。

【回答】:人材育成を目的に短期的な交流を実施している。

- ◆人事交流の目的を具体的に明らかにすること。
- ◆「メンテナンス近代化Ⅲ期」では、マザーベースと車両センターとの技術交流があるが、考え方は違うのか明らかにすること。
- ◆業務量が多い時期に行くと現場は負担となるため、時期を見て行うべきだ。

組合

会社

- ◆短期交流として3カ月間で交流を行っている。目的は、将来のキャリアビジョンを考えるうえで、視野を広げること、人的ネットワークを醸成していくことを目的としている。研修ではない。
- ◆「メンテナンス近代化Ⅲ期」とは違う考え方である。本人希望を把握しながら行っている。
- ◆視野が広がれば技術向上にもつながる。
- ◆今後もよりよい形にしていくよう、検討していく。

4. GV-E197系とE493系の導入計画について明らかにすること。

【回答】:2021年春以降、GV-E197系は高崎車両センター高崎支所、E493系は尾久車両センターに先行投入予定である。

- ◆投入スケジュールを明らかにすること。
- ◆プロジェクトチームについて明らかにすること。
- ◆プロジェクトチームのなかだけで情報共有するのではなく、すべての社員が分かるように周知していくべきだ！

組合

会社

- ◆E493系先行車は3月末に到着し、その後性能試験などを実施していく。期間や量産車の投入時期については未定である。
- ◆今後、尾久車両センターと田端運転所と一緒にプロジェクトチームを発足する予定である。

万全な準備のもとにダイヤ改正をむかえていこう！